

自由回答のため  
答えはないよ



2019年の世相を1字で表す「今年の漢字」が令和の「令」に決まり、日本漢字能力検定協会が12日、京都市東山区の清水寺で発表した。森清範賞主が縦1・5尺、横1・3尺の和紙に特大の筆で揮毫した。協会によると、応募総数は21万6325票で、「令」は3万427票。理由としては「新元号令和に、新たな時代の希望を感じた」との意見のほか、法「令」改正による消費税増税、自然

## 「今年の漢字」は 新元号や警報発令…

令

災害での警報や避難勧告の発「令」などが挙がった。2位は「新」（1万4850票）で「新元号」が理由。3位は「ラグビー日本代表の『ONE TEAM（ワンチーム）』などを連想させる」として「和」（1万281票）、4位は「変」、5位は「災」が続いた。森賞主は「令は命という字にも似ている。お互いが敬い合い、尊敬し合うということが令に込められていると思う」と話した。



京都・清水寺で発表された今年の漢字「令」

かほく

## ワークシート

### 問題

- ①2019年12月13日「『今年の漢字』は令」の記事を読みましよう。
- ②20年の「今年の漢字」を考え、書いてみましょう。
- ③なぜその漢字を選んだかを発表し合いましよう。

(小・中・高校／国語、朝の時間、ホームルーム)

### 出題者から

毎年恒例の「今年の漢字」。会場の清水寺も修復工事を終え、新しい「清水の舞台」を踏めることになったようです。さて、授業で使う新聞記事は新しい方がいいとは限りません。「温故知新」。過去の記事を読み現在のことを考え、新しい知識や見解を得ることができます。そういう意味で今回は昨年の記事を選びました。20年の「今年の漢字」を新聞で確かめるきっかけになることを願います。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・県仙台二華高英語科教諭 大槻欣史)